

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

【記入方法】

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

項目番号23 初期に築く本人との信頼関係

項目番号24 初期に築く家族との信頼関係

項目番号25 初期対応の見極めと支援

項目番号26 馴染みながらのサービス利用

項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援

項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援

項目番号60 お金の所持や使うことの支援

項目番号61 日常的な外出支援

項目番号62 普段行けない場所への外出支援

項目番号63 電話や手紙の支援

項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホーム フェアリー・1

(ユニット名) _____

記入者(管理者) 管理者 矢部 和伸
氏名 記入者 矢部 めぐみ

評価完了日 平成19年 8月 30日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域密着型サービスとして地域の一員としての出来ることでの役割を考え、住みよいまちづくりに努める内容にしています。</p>	<p>ボランティアなど、いろいろと地域の交流を増やしたい。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念を廊下に掲示したり、新しくなった理念を申し送りノートにて報告し、理念に基づいた業務を行ってほしいと伝え、日々取り組んでいます。</p>	<p>報告や掲示をただだけでなく今後は職員会議や日々の話し合い中に取り入れていこうと思う。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ホーム便りを作成し、ホーム内での出来事などを伝えている。ホーム便りは玄関の目に付く所などに掲示し、来所する方々に診ていただいています。</p>	<p>積極的に理念や役割を伝える為説明会や地域のイベントに参加したい。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>商店街ということもあり、散歩を兼ねて近隣のお店に買い物に行ったり、近所の人達と気軽に挨拶を交わしたり、中には近所の人達と立ち話をしてる利用者様があります。</p>	<p>隣近所の付き合いは、今のような関係を続けて行きたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>利用者様、職員で地域(近所)のボランティアとして、折り紙の講師に来て下さったりと人との交流を行っている。</p>	<p>地域の老人会などの参加など個々の興味に合った町会をいろいろと探してみたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者の方のために、使わなくなった電動ベットを欲しい方に無料で提供しました。</p>	<p>実習生の受け入れや、勉強会など実施できるよう職員や利用者様たちと話し合いながら決めていこうと思います。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前年の評価後、職員間で話し合いを行い、報告を兼ねて改善計画書を作成し、いろいろと改善しております。</p>	<p>今回の評価についても前年と同じく、よりよいサービスに向けて取り組んでいきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在は、利用者・家族等だけで話し合い程度です。</p>	<p>運営推進会議について勉強し、地域住民や行政職員等に働きかけ、サービスの向上に努めていきたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>業務日誌や介護についての相談などは自己判断・内部で抱え込むことなく直接市の窓口へ足を運び、課題解決を図っていきます。</p>	<p>市町村担当者との連携、現状維持し、今以上の質の向上を目指していきたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、対応が必要と思われる利用者がいないが、機会がある時には、勉強会や話し合いをするようにしている。</p>	<p>制度について細かい理解が必要。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止について話をしており、その他にニュースや事件などで耳にした時など、常に防止についての意識作りに努めております。</p>	<p>話し合い以外でも、常に考えてもらう為、虐待防止についての貼り紙を廊下に掲示してみようと思う。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項・契約書の説明を丁寧に行い、コピーを渡し、疑問などがあつた場合には言っていたくよう伝えている。医療連携体制についても同様に説明し同意を得ている。</p>	<p>不足している点、直さなくてはいけない点があれば対応していきたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の言葉や態度から思いを察する努力をし、職員間で話し合い、また、夜勤者については申し送りノートに記入するなど、情報の共有に努めている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎日の暮らしぶりや行事などの情報をホーム便りに記入(作成)し、報告している。金銭管理については管理をお願いされている方のみ個々の入れ物と出納帳を用意し家族が来た時に報告している。</p>	<p>報告した際にサインをいただいた方が良いとおもっているので実施したいと思う。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情箱は書きやすいようにトイレに設置し、苦情を表せる機会や場があることを契約時に用紙にて説明、廊下にも掲示している。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>みんなが居るミーティングだと言いたい事もいえないと思うので、個別面談を受け入れている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入居者数や勤務者人員の必要性を考え、毎日の出勤予定を作成している。その出勤予定表には管理者を含めておらず、職員の急病や急な休みにも対応できるようにしている。</p>	<p>勤務従事者が、日勤専門と夜勤専門と別れており、どうしても夜勤者は利用者との関わりが少ないので、今後、日中に関わりが持てるような機会が作れば良いと思っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員交代による利用者のダメージを防ぐ為利用者の為に馴染みの職員が継続的に支える体制が取れる職員体制を作れる様、入社面接時に気をつけている。	労働しやすい職場作りを取り組んでいきたい。
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	運営者は常に現場へ行き、利用者とのコミュニケーションを取ったり、一人一人の職業の業務内容や悩みを把握しており、感謝していることについては、言葉に表し、評価している。	職員が向上心を持って働けるような評価の仕方を考えたり、スキルアップできる環境づくりに努めたい。
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム連絡協議会の会員になっており勉強会・情報交換などを通じてケアの向上に取り組んでいます。	交流の場に出向く職員も一定にせず、勤務予定を工夫し交代に行けるようにしたい。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	日常や面談時に職員のストレスや悩みを把握する様努めている。職員が利用者と離れ、一息入れる時間を作っている。(昼食時等)	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	運営者も常に現場にあり、利用者に関わり、職員一人一人の業務や悩みを把握する様努めている。	職員が向上心を持って働けるような評価の仕方を考えたり、スキルアップできる環境づくりに努めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>共に過ごし合う「家族」を目標にし、悲しみ・喜びを分かち合う為、会話での共感や喜び・楽しさを体で表現したりと共に支えあう関係を築いている。</p>	<p>関係を維持していく為に、定期的な確認・反省を繰り返しやっていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホーム便りや、来所時の際、利用者の様子や職員の思いを伝えているが、どちらかという介護について家族側は、施設側におまかせすることが多い。		お任せされているという事は、信頼してくださっているとも取れますが、今後は家族の思いや考えを引き出す努力をしていきたい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者・家族それぞれの会話の中にお互いの素晴らしさや思いやりがあることを報告したりなど、より良い関係が築けたらなと思いながら努めています。		親族の続柄でない方がいたり、心の心底からお互いに忘れられない過去のことなどからくる感情が残る方などには、時間を掛けたり、状況を見ながらケアをしていきたいと思っています。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの知人・家族のお墓・場所など利用者の心理状態を考え、会いに行ったり出かけたりなどの支援をしています。		来ていただくより出かけることの方が多いので、利用者が会いたい人を呼びたいと思えるような環境づくりに努めたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お茶の時間など、できるだけ会話を持つようにし、その会話で利用者の仲の善し悪しに配慮し、暮らしを楽しめるよう支援している。世話役の利用者には、個性を活かし利用者同士支え合いができる関係の場面作りを支援している。		利用者が孤立しないような支援も必要と思うが、中には他の人とできれば関わりたくない、会話も好きでない方がいるので、利用者全員が共に支え合う環境作りは難しい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても、サービス利用の間に培われた関係性から電話をいただいたりして、とてもうれしく思います。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	必要に応じてアセスメントを行い、ニーズを把握できるように努めている。	言葉だけでなく、態度や行動からも一人ひとりの思いを把握していければと考えている。
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	本人の昔の輝いていた時の話を伺う等し、生活歴把握に努めている。	家族との連携を密に行うことにより、ライフサイクルを把握していきたい。
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	馴れ親しんだこれまでの日常生活を把握し、継続して、その暮らしを実現できるように努めている。	心身状態の変化に応じた暮らし方の変化にも柔軟に対応していければと考える。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	家族や本人を支えてきた周りの方により、利用者様にはホームでどのような暮らしして欲しいかを確認している。	ホームでの現状を詳細に報告を行うことで新たな家族の希望を引き出していきたい。
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	心身状況の変化に応じて新たなニーズに対応した計画を立てるよう努めている。	些細な状況の変化を見落とすことなく、関係者に相談・報告し、有効な計画を立てていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活における利用者の日々変動する心身状況を職員間で情報共有する為の記録が行えるようにしている。		利用者ごとの記録をプラン改善の為、データとしてフィードバックしていければと考えている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアに文化的活動の支援をしていただいたり(音楽・体操)、有事の際の為に消防に応急処置訓練等を依頼している。		人的・社会的資源を本人の生活有効に生かせる様一層の地域資源の把握が必要と考えている。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	自施設内でサービスが完結してしまう傾向がある。		今後に関しては生きがいデイや、町内での催し等、利用者生活にプラスになるような事業以外のサービスに参加したい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの関係性は現時点では希薄である。		施設内での解決が難しい事象の解決の方策の一つとしてセンターを有効に利用していきたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>サービス利用開始の時点で受診についての本人、家族の同意を得た上で新たなかかりつけ医を設定している。</p>		<p>新たに発生した疾病に対しても本人・家族の意向を十分に組み入れていきたい。</p>
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>訪者NSに状況を報告し、専門医受診の必要性の指示を仰いでいる。</p>		<p>かかりつけ医・家族・職員間でケースを検討することにより、専門医受診の必要性を随時検討していく。</p>
45				
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>ホームでの暮らしの様子や体調変化の特性等を病院側にお伝えしている。</p>		<p>連携を一層密に行うことにより、早期退院、状態回復の为一助となれるよう努めたい。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ターミナルに関する話し合いの場には、ほとんど設けられていないのが現状である。</p>		<p>ターミナルに対して、本人や家族がどのような思いを抱いているのかを目を背けることなくその思いを受け止めていけるよう努めたい。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>事務所としての能力を踏まえ重度化、終末期に関しては医療機関に任せる傾向が強い。</p>		<p>医療機関に対し、できる協力とは何かを日頃から考え、実践していきたい。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>退所し、在宅や他施設へ移動となる際は、家族に支援の状況等ケースの引継ぎが問題なく行えるよう情報交換するよう努力している。</p>		<p>本人の今後の生活の為、リロケーションダメージを最小限におさえることは大切であり、その為に必要なケースの情報を充分より一層伝わるよう努力していきたい。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>				
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>				
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員が利用者に対しての言葉の内容や語調などで誇り、プライバシーを損ねていないかの点検をしている。</p>		<p>状態によって、いつもなら大丈夫な言葉や語調などで損ねてしまうこともあるので、その都度申し送りノートなどで報告し、適切な対応を取っているので、今後もそのようにしていきたい。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>散歩や外出、レクリエーション、食べたいメニューなど、利用者に合わせて声かけし、本人が決める場面を作っている。</p>		<p>今現在での場面の他にもできるだけ多くの場面作りをしたい。(個々に合わせた)</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日、本人がしたいこと(買い物・散歩等)を尊重できるよう個々の状態や思いに配慮しながら対応している。</p>		<p>日々いろいろなことを選択ができるよう選択肢を増やしたい。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>着替えは、利用者の意向で決めており、不十分なところや乱れは、さりげなく直している。理容・美容については本人が望む店で本人が望むようにカットをしてもらっている。</p>		<p>今は皆さんの馴染みの衣類を着ているが、新たに衣類が必要となった場合には、家族の全てをお願いするのではなく、買い物に出掛け、本人に選んでもらうような場面作りをしたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者が食べたいメニューがあった時は、食材の買出し、調理を一緒に行うようにしています。また、調理をしていただいた料理と一緒に食べ、利用者へ感謝の気持ちを伝えることで、次の機会へと繋がっています。</p>	<p>食べ終えたトレイを台所まで下げることはしていますが、洗うこと、食器を片付けることはなかなかお手伝いしていただけません。今後の課題として、声かけの仕方など職員間で話し合っていきたい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>一人一人の嗜好物を理解しており、医師との連携をとり、本人の様子を見ながら、楽しめるようにしている。酒やタバコについては職員が預かり、決まりを決めて楽しんでいただいています。</p>	<p>今後とも本人や家族の思い、医師の話を聞いたうえで、楽しんで過せるよう支援していきたい。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>現在は、利用者・家族等だけで話し合い程度です。尿意・便意がある方ばかりで、皆さん、それぞれいきたいときにトイレに行くことができる。</p>	<p>以前は、介助・見守りの利用があり、その時には、さりげない声掛け・誘導・介助を行っていたので、今後、利用者の状態を見ながら、介助を要する時には、以前行っていたような支援もしようと思っている。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>以前、入浴を好まなかった利用者があり、できれば入浴していただきたいということで2日に1回、曜日を決めているが、他の曜日については9時～16時迄は希望に合わせて入浴していただいている。</p>	<p>入浴したい日には、入浴していただいているが時間帯に関しては、事業所が決めてしまっている。好きな時間に入浴していただけるよう職員のローテーションの工夫も必要と思う。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>できるだけ日中に活動していただくため、支援(会話・レクリエーション・散歩等)している。安眠については、状況に合わせて温かい「くず湯」をお出ししている。</p>	<p>昼と夜が逆になっている方などがいる場合には、職員間で日中の過ごし方などを話し合い生活リズムの調整に努めている。今後もそのようにいきたい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>個々に合わせて、お願いできそうな仕事(食事作り・プリンターの手入れ、簡単な事務作業)を頼み、感謝の言葉を伝える。その後、同じ機会ができた時に、利用者から率先して行動してくれることもある。</p>	<p>1つ、2つだけでなく、いろいろな力を発揮できる場面を沢山つくってあげたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)	家族等と相談しながら、利用者に合わせた金銭管理の支援をしている。個々で所持しているお金で皆さん買い物をしている。中には通帳も自分で管理している方もいる。		一人の利用者のみ、職員側が家族からお金を預かり、外出時には少額をお渡しし、自分で払っていただくよう支援している。今後も同じく支援していきたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	希望に合わせて、ストレス発散の為に近所のお宅に遊びに行き、一緒に食事をしたり、お茶を飲んでお話したり、天気の良い日には戸外に出掛けるよう心掛けている。		利用者が外出の希望を言ってくれるので、職員側としては支援しやすい。希望を言ってくれるような関係であることを嬉しく思うので、この関係を維持していきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)	以前、住んでいた地域にいきたい。お友達の所へ行きたい。お墓参りに行きたいなどの思いが出された時は、職員同士で話し合い、実現できるように支援している。		職員と出掛ける以外にも家族と外食に出掛ける利用者もいる。今後も利用者、家族の方からの希望があった場合には、できるだけ対応できるようにしていきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	いつでも電話を掛け、個々の部屋でもお話できるように子機を置いてある。なかには、自分使用の携帯電話を持っている利用者もいる。		年賀状・暑中見舞い・手紙など家族へ出す提案はあったのですが、進んで書いてくださる方がいなかった為実行できなかった。今後は、実行できるような意欲作りに努めたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)	訪問時間は定めておらず、都合の良い時間にいつでも訪ねて来ていただけるよう配慮している。以前、利用者の娘さんが訪ねてこられ、泊まってもらい、一緒に入浴した事もあります。		いつでも訪問していただけるよう配慮しているが、家族、親戚間での関係で気を使って来れない家族等もなかにはおられます。このことについて解決できることはないか考えています。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者の点検だけでなく、職員間でも日々のケアについて自覚していない物も含め身体拘束をしないかを話し合っている。身体拘束についての研修(H19年1月申込み)を申込みしたのですが、2月13日応募者多数の為、研修を受けられませんでした。		次回、研修がありましたら是非受講したいと思います。その研修に基づきながら職員と勉強会をしたいと思っています。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を一切かけず、天気の良い日や暖かい日は玄関を開け、窓は網戸にし、開放的にしている。		徘徊があった方には、外出を止めるのではなく、声掛けをし、会話をしながら一緒について行き、会話の工夫をし、無理やりではなく、同意で来る様にしている。個々に合った支援をしていきたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者と同じ空間で記録をとりながら全員の状況を把握できる様にしている。夜間はほぼ中央の談話室で休んでいる。		今後も同様の配慮で行こうと思う。利用者の状態によっては時間を決め、声を掛けたり、安全確認に努めたい。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	状況に合わせ、保管する物、注意する物と分け管理している。夜間時、刃物を鍵付きの所へ保管したり、洗剤などは目に付かぬ様、引き出しの中に保管している。		これなら大丈夫という気持ちから、事故がないよう慎重に保管・管理していきたい。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	予測される危険を想定し、予測される事故を未然に防ぐ為の工夫に取り組んでいる。例えば、誤嚥、急変などを防ぐ為の知識を廊下に掲示している。		実際に事故が発生した場合、再発防止や家族への説明と報告を行っていきたい。
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	利用者様の急変時等に適した対応ができるよう、近隣の消防の方を講師に迎え、訓練を行っている。		訓練を繰り返し、不安材料を取り除いていきたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消火器や避難路の確保をしている。また、新しい利用者や職員が入所・入社した時には訓練を行っている。		今現在は事業所だけの訓練になっているが今後は地域住民の方々にも協力していただける様コミュニケーションを大切にしたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>様々な活動や外出時での個々のリスクを話し合い、安全、安心できるような支援、見守りを行っている。そのことによって抑圧感のない暮らしの支援の繋がっている。</p>		<p>家族の方にも利用者様の表情が良くなった等の言葉をいただいているので、今の状況を保っていきたい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎月の個々のバイタルチェックや日常生活の日記をつけており、変化や異変があった場合は、申し送りノートへの記入に加え、口頭で情報の共有を行っている。</p>		<p>日記やノート等の情報は医療への連携もうまくとれるので今後も取組んでいきたい。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>目的や副作用などが書かれている用紙をファイルし、職員が情報を共有し、理解している。</p>		<p>薬の内容や用量が変わった時等、申し送りノートで報告している。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>毎日、ラジオ体操、散歩、又、牛乳を飲む等、自然排便できる様、支援している。</p>		<p>時には、下剤を服薬している利用者様もあり、本人は薬を飲まない心配だと薬に頼ってしまう所も見られるので心のケアもしていきたい。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>歯磨きの声掛けや見守りを行っている。就寝前には義歯の洗浄をする様、声掛けをしています。</p>		<p>今後、ADLの状態を見ながら個々に合わせた支援を行っていきたい。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取量を個々のチェック表に記録し、職員間で情報の共有をしている。又、利用者様の受診している病院の栄養士さんを迎え、アドバイスいただいている。</p>		<p>栄養士さんのアドバイスを元に調理には気をつけているが、まだまだ個々の状態を考え、職員間でもっと勉強会もやりたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関して情報を収集し、(マニュアル化)全職員で学習している。		利用者は希望でインフルエンザ予防接種をしているが、職員の接種については強制していない。今後、職員と話し合い、予防接種について考えたいと思う。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板などは漂白し、食材については鮮度や状態を確認し、調理、処方している。台所の衛生については、常に職員へ伝えている。		調理に関わっている職員と食材の在庫表の作成について話し合いをしたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節感のある花や野菜などのプランターを置き、玄関周りを明るく見える様にしている。		玄関周りが狭い為、花等は置いてないが狭いながらもできる工夫を考えていきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月のカレンダー作りの飾り付けを一緒に考えたり、廊下やトイレの電気の明るさをやさしい明るさにしたり、天気の良い日には、網戸にし、自然の空気を取り入れたりなど居心地よく過ごしていただけるよう配慮している。		何でもない音や光が利用者様への刺激やストレスになっていないか日常的に注意を払っていきたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはテーブル・椅子などを3ヶ所に置き、独りになる場所、気のあった利用者様達など、それぞれの思いの方々が、過せる空間作りをしている為、廊下にはベンチを置き、テーブルから離れた所で休める空間を設けている。		利用者様の状態を見ながら、居心地の良い居場所作りや環境作りの維持、改善に努めたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム便りや入所時に馴染みのある物を用意していただくよう伝え、できるだけ用意していただいている。家具や物は個々が使い易く落ち着く場所に置いたり、模様替えしている。</p>		<p>居室でも季節を感じれる様、花などを置いてなごみのある空間を作りたいと思っている。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>24時間換気扇などを設置・配慮しており、空調は温度計・利用者様に意見を聞きながら調整している。</p>		<p>住宅街であり、側溝より気になる匂いがする事もある。近隣と話し合い、定期的な排除ができればと思う。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ、廊下の手擦りはもちろん、洗濯物干しを低くしたり、台所、洗面所の台を低くする等、自立した生活ができる様工夫している。</p>		<p>一人一人のADLの変化等に考慮し、状態に応じて環境の配慮をしていきたい。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>日付け、曜日が見て理解できる様大きなカレンダーを作ったり、飾ったり分かり易くしている。</p>		<p>電気のスイッチがどこの場所のスイッチなのか分からず付けたり、消したりする事ができない場合があるので、スイッチに表示してある場所名を大きく表示したいと思っている。</p>
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>庭に木を植えたり、花や野菜のプランターを置き、日常的に活動できるようにしている。また、中庭にベンチを置き、日向ぼっこができるようにしている。</p>		<p>狭いながら他にも楽しみになるものがないか、利用者様含め意見を聞き、取入れていきたい。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	その他()
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="checkbox"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	その他()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と <input checked="" type="checkbox"/> 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	その他()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 <input checked="" type="checkbox"/> たまに ほとんどない	その他()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	<input checked="" type="radio"/> その他(項目8の記入の通り現在は家族だけなので今後の活動により向上したい。)
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> 職員の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	その他()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

事業所が開設して約3年で、まだまだ勉強不足の箇所があると思いますが、職員達はやる気、元気でいっぱいです。去年よりの今年、昨日よりは今日とあせらず少しずつ、確実に成長していきたいと思っています。